



★3月&春休みの開館予定（変更になることもあります）

日	月	火	水	木	金	土
3/2 休館	3 休館	4 正○ 共◎	5 正○ 共◎	6 正○ 共◎	7 正○ 共◎	8 休館
9 休館	10 正○ 共◎	11 正○ 共◎	12 正○ 共◎	13 正○ 共◎	14 正○ 共◎	15 休館
16 休館	17 正○ 共◎	18 正○ 共◎	19 正○ 共◎	20 休館	21 正○ 共◎	22 休館
23 休館	24 正○ 共◎	25 正○ 共◎	26 正○ 共◎	27 正○ 共◎	28 正○ 共◎	29 休館
30 休館	31 正○ 共□	4/1 休館	4/2 正○ 共◎	4/3 正○ 共◎	4/4 正○ 共◎	4/5 休館
4/6 休館	4/7 正○ 共◎	4/8 休館	4/9 正○ 共◎	4/10 正○ 共◎	4/11 正○ 共◎	4/12 休館

開館時間	
正（正道館学習室）	共（共生図書館）
07:00~17:00	09:00~19:30 □9:00~16:00

**野球殿堂入り「イチロー選手」**

日本人初の殿堂入りを果たしたプロフェッショナルの生き方には一流の哲学があるようです

📖『素顔の勇者たち 努力の天才バッター』

📖『イチロー 会見全文』

**「自分の能力を見つける能力を  
身につけてもらいたい」**

（TVインタビューでのメッセージより）

**📖話題作 科学との融合小説『藍を継ぐ海』（伊予原新・著）**

作者は東京大学大学院で地球惑星科学の研究者から専業作家に転じた伊予原新さん。著作の『宙わたる教室』は昨年の読書感想文課題図書にも選ばれる他、ドラマ化もされ話題になりました。実話をヒントにJAXAに研究協力要請されるまでに成長した定時制高校の科学部の生徒達の物語です。

直木賞受賞作品の『藍を継ぐ海』は5編の短編が収められています。題名にもなっている「藍を継ぐ海」は中学生がウミガメを育てる物語。そこでの地磁気の話が興味深いものです。

ウミガメが地図を持たずに何年もかかって、遠い海洋まで長旅を成し遂げられるのは何故なのか。生まれたての子ガメは何故、迷わずに黒潮にたどり着けるのか。母ガメはどうやって自分が生まれた浜辺を見つけ出すのか。その答えの一つが地磁気。ウミガメは体内に何らかの方位磁針を持っていて方角や緯度を知覚するそうです。その能力は卵の中で胚が成長する間に獲得され自分が生まれた場所の地磁気の特徴も刷り込まれるのだそうです。科学の知見と人間ドラマが融合した作品は中高生にお勧めです。



**📖本屋大賞ノミネート作品（大賞発表は4/9）**

本好きの書店員さんが選ぶ本は時代を反映した本が多く、読者の共感を呼びます。今回はその中でも中高生が読んで心に響くと思われ2作品を紹介します。

**📖『カフネ』（阿部暁子・著）**

どん底で受けた優しさは忘れない。助けられたら今度は助ける。ラスト3行にこの本の題名が込められています。

「ラベリングできない人の結びつき」を描いた傑作です。

**📖『死んだ山田と教室』（金子玲介・著）**

名門進学校の教室を舞台に、主人公・山田を通して描かれる迫力ある高校生の青春小説です。

そして、人の心の痛みが静かに伝わってくる秀作です。



**📖!新着本の紹介です**

📖『夢を叶えるために脳はある』（池谷裕二・著）

📖『なぜか なんとなく生きづらいの正体』（メグ・アロール著）

📖『折り紙と数学』（トウンケン・ラム著）

📖『ほんとうの医療現場の話をしよう：医学部を目指す君たちへ』（高須賀とき・著）

📖『QOLって何だろうー医療とケアの生命倫理』（小林亜津子・著）

📖『ゲートはすべてを言った』（鈴木結生・著）

📖『歪曲済アイラーピュ』（住野よる・著）

📖『翻訳書簡 赤毛のアンをめぐる言葉の旅』